

学校だより

5月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和三年 五月一日



これからの時代を生き抜く健康な体づくり

校長 吉野 達雄

今から四十五年ほど前、高度経済成長期の街中には空き地が点在していました。放課後の私たちの遊びと言えば空き地での野球で、たくさんの友達と一緒に夢中に走り回っていました。振り返ってみると、ボール投げが得意で、たくましい体つきの子供が多かったように思います。また、ボール投げだけでなく、他の運動もそれなりに上手にできていたように思います。今の子供たちのように遊び方や放課後の過ごし方が多様化されていない時代だったので、とにかく外で体を動かして遊んでいました。昭和四十年五十年ごろの子供たちの一日の平均歩数は、二万五千歩くらいであったというデータがあるそうです。現代の子供たちは、一万歩程度で目指せ一万五千歩とされています。白金小の子供たちは休み時間によく遊びますが、一日の運動量としてはさほどでもないのかもしれませんが、小学生の時期にたくさん体を動かしたりスポーツをしたりすることが、これからの変化の激しい時代を生き抜く健康な体づくりにつながります。

【子供の体力向上推進優秀校として表彰を受ける】

令和二年度、体力向上に向けた本校の様々な取組が評価され、東京都教育委員会より表彰されました。引き続き、ボルダリングやボール投げ教室、運動動画の配信など工夫した取組を実施していきます。現在の白金小の子供たちの課題は、握力とボール投げです。全国の子供たちの課題と同じ傾向にあります。ところで、休日に広い公園で、親子でキャッチボールなんていかがでしょうか。

【食育を推進します】

健康な体づくりに食育はかせませません。子供たちの好き嫌いは把握していますか。今は、嫌いなものは無理に食べなくていいという風潮がありますが、やはり何でも好き嫌いなく食べることの大切さは教えたいです。また、食べることでなく、食べ物の産地や作り方、作っている人への感謝なども学ぶのが食育です。ホームページの給食だよりはぜひ家庭の食卓の話題にしてほしいです。

特別活動について

特別活動部 坂 愛

「特別活動」の目標は、学習指導要領に「望ましい集団生活を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」とあります。内容は、大きく分けて、

- ① 学級活動
- ② クラブ活動
- ③ クラブ活動
- ④ 学校行事

の四つです。①と④は全学年、②は主に五年生と六年生、③は四年生から六年生が関わります。

全学年が関わる学級活動は、発達段階に合わせて、各学級で一年生から少しずつ経験を積み重ねていきます。その力を全校が関わる学校行事などで発揮していきます。

クラブ活動は五月から、委員会活動は四月から取り組んでいきます。十二のクラブと九つの委員会に分かれて活動します。子供たちが、異学年の集団の中で自分の力を発揮しながら、全体での達成感や所属感が感じられるよう全職員で指導していきます。何の委員会やクラブになったかをご家庭で話題にいただけるとますます意欲の高まりにつながると思っています。



白金小学校
Twitter



学校HPからも
入れます。